

2018年3月期 第1四半期 決算概要

2017年8月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証第一部)

2018年3月期 第1四半期 決算ハイライト

日本では前連結会計年度の第1四半期に影響を与えた熊本地震の反動による増加。海外では中国、欧州、シンガポール、インドネシアが好調に推移。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比112.4%、10億円増の97億円。
	日本	前年同期比110.1%の42億円。自動車関連が伸長したことに加え、電子部品・半導体関連、食品・飲料関連も売上を底上げする形で好調を維持。
	中国	前年同期比114.4%の46億円。引き続き自動車関連と電子部品・半導体関連が堅調に推移し、新たに取組んでいる高付加価値の戦略製品が伸長。
	東南アジア その他	前年同期比113.7%の8億円。 欧州、シンガポール、インドネシアが好調に推移。
利益		営業利益は前年同期比211.7%の7.0億円。研究開発投資やパンチアカデミー発足に伴う人材育成投資などによる販管費の増加はあったものの、売上が増加したことによる利益増に加えて、工場の稼働アップによる原価率の良化により、大幅増益。経常利益は前年同期比215.4%の7.1億円。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比203.5%の4.2億円。
ネット資金		配当金支払い等により、期首から48百万円減少。

□2018年3月期 第1四半期の決算ハイライト

□グループ全体で売上は2桁増、利益は2倍以上と好調なスタート

□日本では売上は前連結会計年度の第1四半期に影響を与えた熊本地震の反動による増加もあり、2桁増

□海外では中国、欧州、シンガポール、インドネシアが好調に推移

□営業利益は、前年比211.7%の7億1百万円

研究開発投資や若手社員への技能継承を主たる目的としたパンチアカデミー発足に伴う人材育成投資などによる販管費の増加はあったものの、売上が増加したことによる利益増に加えて、工場の稼働アップによる原価率の良化もあり、大幅増益

□経常利益は、前年比215.4%の7億11百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年比203.5%の4億22百万円

□ネット資金は、配当金支払い等により、期首から48百万円減少

損益計算書サマリー

(単位:百万円)

	2017年3月期 第1四半期		2018年3月期 第1四半期		前年同期差	前年同期比
売上高		8,658		9,733	1,075	112.4%
営業利益	3.8%	331	7.2%	701	370	211.7%
経常利益	3.8%	330	7.3%	711	381	215.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2.4%	207	4.3%	422	215	203.5%

□決算数値の概要

□売上高は97億33百万円、前年同期比112.4%、10億75百万円の増収

営業利益は7億1百万円、

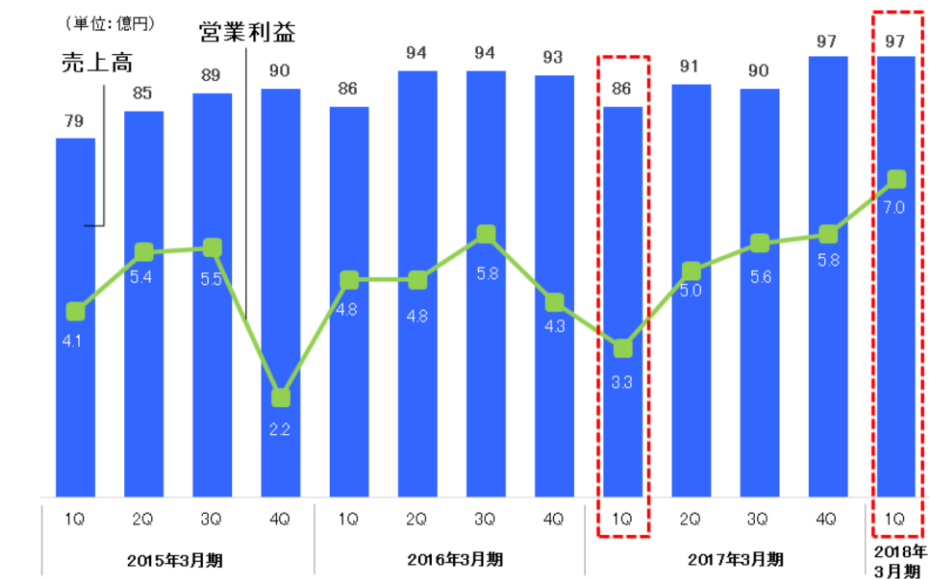
経常利益は7億11百万円、

親会社株主に帰属する四半期純利益は4億22百万円、

いずれも前年同期を超過

売上高と営業利益の推移

四半期ベースでの売上高・営業利益ともに上場来最高を更新



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2013 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

3

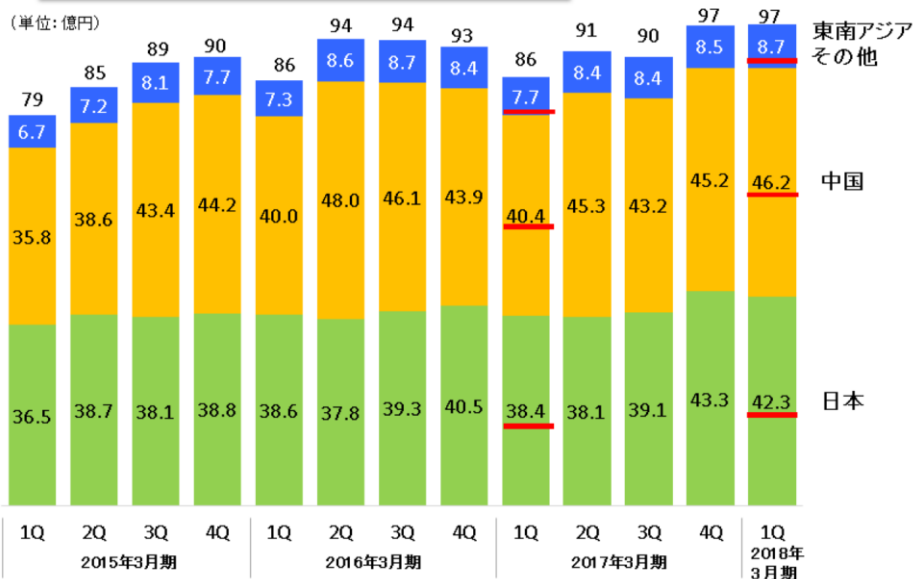
□ 四半期ベースの売上高と営業利益の推移

□ 第1四半期において、四半期ベースでの売上高・営業利益ともに上場来最高を更新

□ グループ全体の取組みで、前連結会計年度の第4四半期の好調な流れを継続中

地域別売上高

四半期ベースで、全地域が増収を達成



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2013 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

4

□四半期ベースの地域別売上高の推移

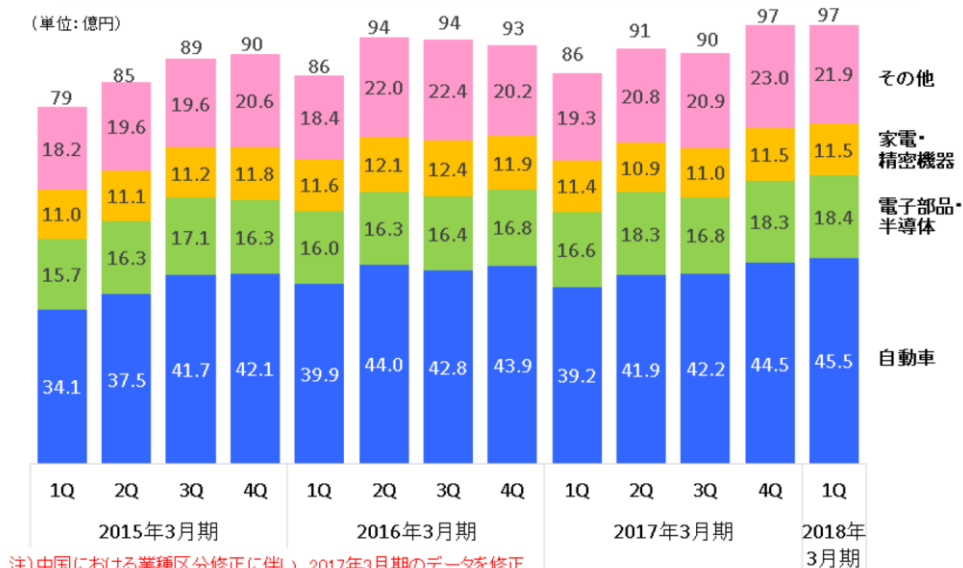
□日本は、家電が引き続き軟調だが、自動車関連が大きく伸長したことに加え、電子部品・半導体関連、食品・飲料関連も売上を底上げする形で好調を維持し、前年同期を超過

□中国は、引き続き自動車関連と電子部品・半導体が堅調に推移し、新たに取組んでいる高付加価値の戦略製品が伸長したこともあり、前年同期を超過

□東南アジアその他は、各国で好不調の波はあるものの、欧州、シンガポール、インドネシアが好調に推移した結果、前年同期を超過

業種別売上高

2017年3月期 第4四半期より回復基調に転じた自動車関連の受注が拡大



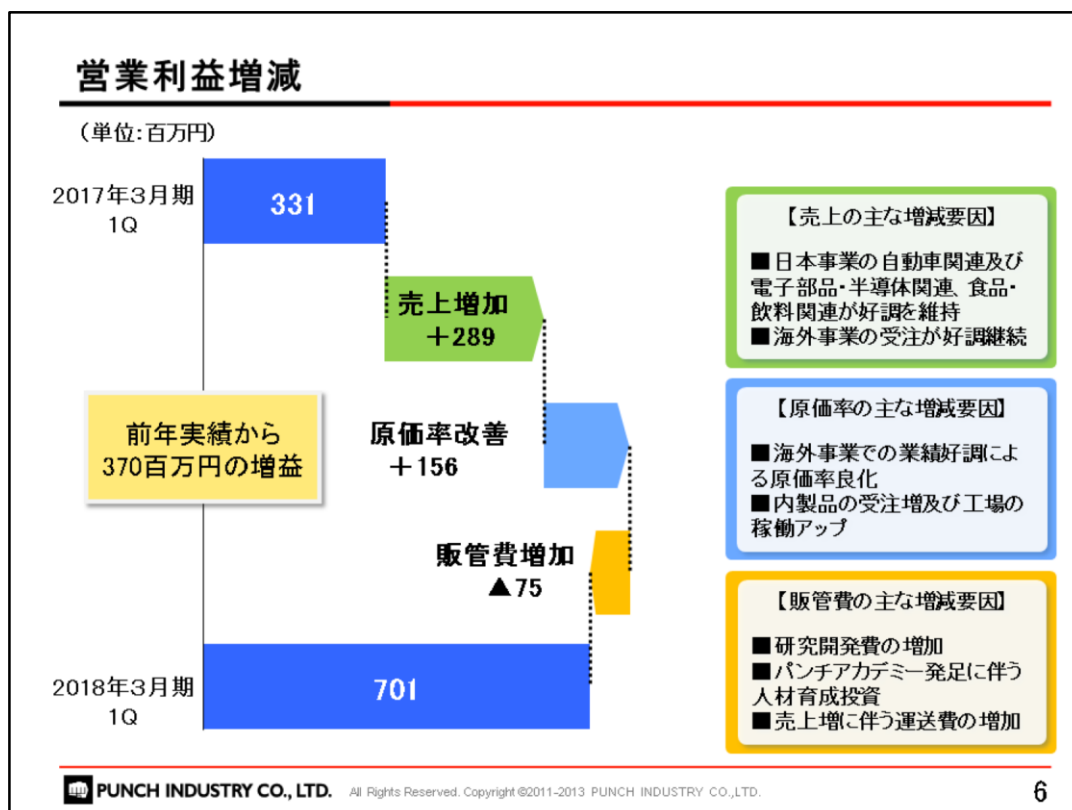
□ 四半期ベースの業種別売上高の推移

留意点: 中国における業種区分修正に伴い、2017年3月期のデータを修正

□ 前連結会計年度の第4四半期より日本において、自動車関連の受注が回復基調に転じており、その流れが続いたことが自動車関連の売上を底上げ

□ 半導体の好調もあり、電子部品・半導体関連が伸長

□ その他の中でも、高付加価値製品として当社が注力している食品・飲料関連等は好調



□ 営業利益の増減分析

□ 前年実績の3億31百万円から、

売上増加の影響により、2億89百万円の利益増、

海外グループの原価率良化により、1億56百万円の利益増

一方、研究開発費及びパンチアカデミー発足に伴う人材育成投資、売上増に伴う運送費等の増加による影響があり、75百万円の利益減

□ 2018年3月期 第1四半期実績としては、7億1百万円となり、前年同期に対し、3億70百万円の増益

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2017年3月期末	2018年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	29,451	28,790	▲661
総負債	15,275	14,678	▲597
うち有利子負債	6,857	6,574	▲282
純資産	14,176	14,112	▲64
ネット資金	▲3,526	▲3,574	▲48
自己資本比率	48.1%	49.0%	0.9pt

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	395	405	10
減価償却費(無形固定資産含む)	331	367	36

□貸借対照表サマリー

□総資産は、現金及び預金の減少により、287億90百万円

□総負債は、短期借入金及び長期借入金の減少により、146億78百万円

□純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金支払い、
為替換算調整勘定の減少等により、141億12百万円

□自己資本比率は、49.0%

□設備投資額は、4億5百万円

2018年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2018年3月期 第2四半期連結累計期間			【参考】 2017年3月期 2Q実績
	期初予想 (5/11公表)	修正予想 (8/9公表)	修正予想差 (修正予想比)	
売上高	19,120	19,530	410 (102.1%)	17,846
営業利益	5.9% 1,130	6.7% 1,310	180 (115.9%)	5.4% 841
経常利益	5.8% 1,120	6.6% 1,300	180 (116.0%)	4.4% 791
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3.8% 735	4.2% 830	95 (112.9%)	3.1% 549

□ 最近の業績動向を踏まえ、5月11日公表の2018年3月期 第2四半期連結累計期間における業績予想を修正

□ 第2四半期連結累計期間における業績予想の修正理由

- ・日本国内は、前連結会計年度の第4四半期より回復基調に転じていた自動車関連が引き続き好調に推移していることに加え、高付加価値製品として当社グループが注力している食品・飲料関連も売上を底上げする形で、想定以上に好調を維持
- ・中国は、引き続き自動車関連と電子部品・半導体関連が堅調に推移し、日本同様に新たに取組んでいる高付加価値の戦略製品が伸長
- ・東南アジアその他地域でも堅調な業績となっていること等

2018年3月期 通期業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2017年3月期 (実績)		2018年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高		36,648		38,000	1,352	103.7%
営業利益	5.4%	1,990	5.8%	2,200	210	110.5%
経常利益	5.1%	1,874	5.5%	2,100	226	112.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.8%	1,375	3.7%	1,400	25	101.8%
自己資本利益率 (ROE)		9.8%		9.3%	▲0.5pt	

2018年3月期
配当予想

中間 13.5円 + 期末 13.5円 = 27円

□通期の業績予想については前回予想を据え置き

□2018年3月期における業績予想の据え置き理由

- ・第3四半期以降は、日本国内事業における先行きの不透明感
- ・海外事業における為替変動等による業績への影響が予測困難

これらの影響を見極めた上で、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示予定

□まずは、上方修正した第2四半期連結累計期間の業績予想達成が目標

第2四半期以降も引き続き、パンチグループ全社員が一丸となって取り組む

■各資料につきましては、弊社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2017/>

参考資料



会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,959名(グループ連結、2017年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD. に事業を移管し、2016年9月27日付けで清算を結了しております。

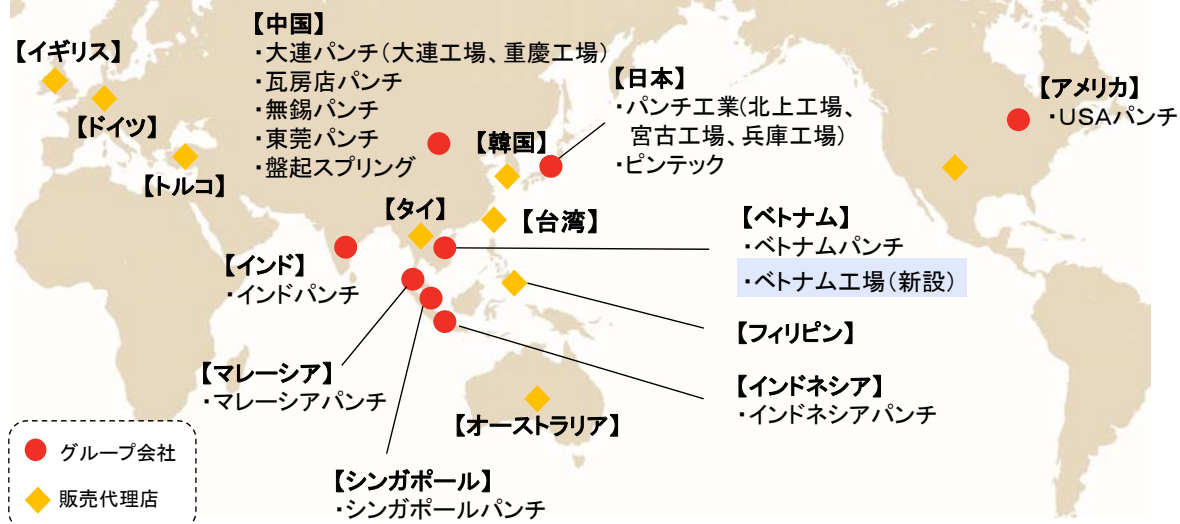
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

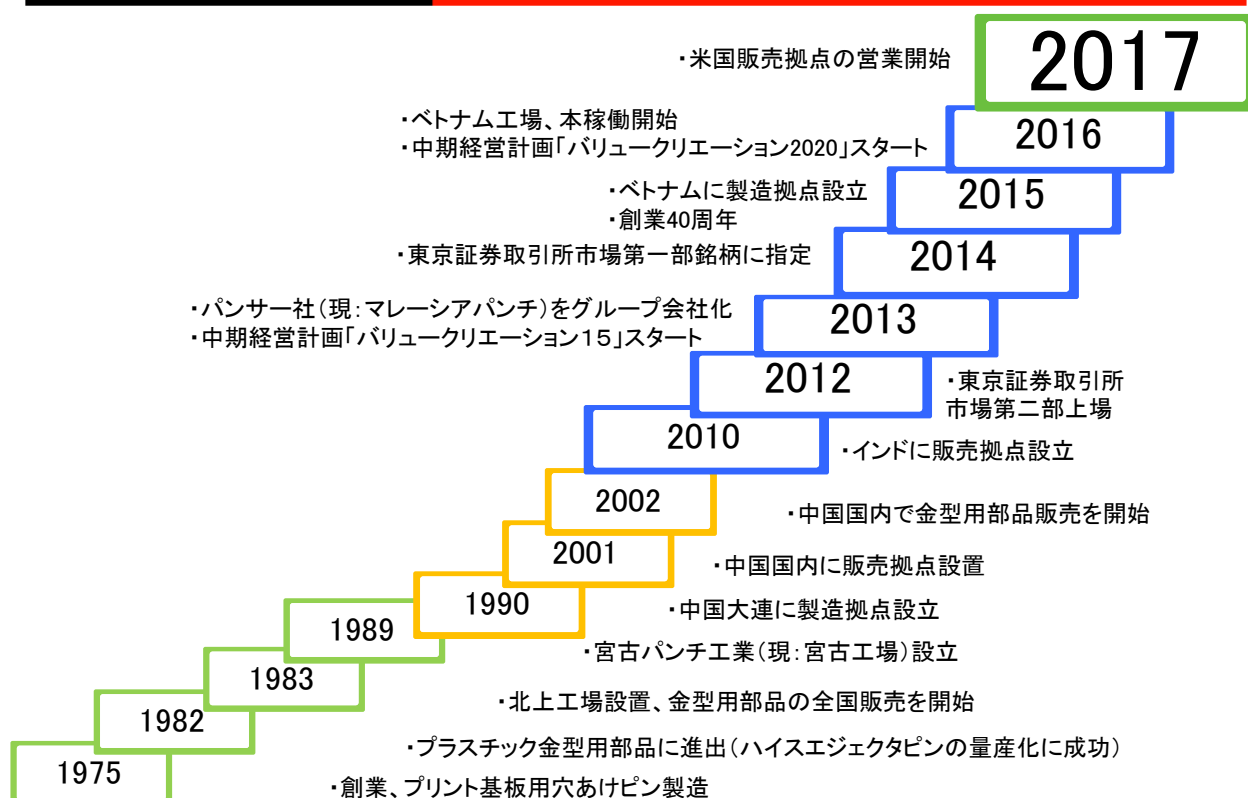
日本	海外
4 カ所	8 カ所

販売拠点数

日本	海外
13 カ所	40 カ所

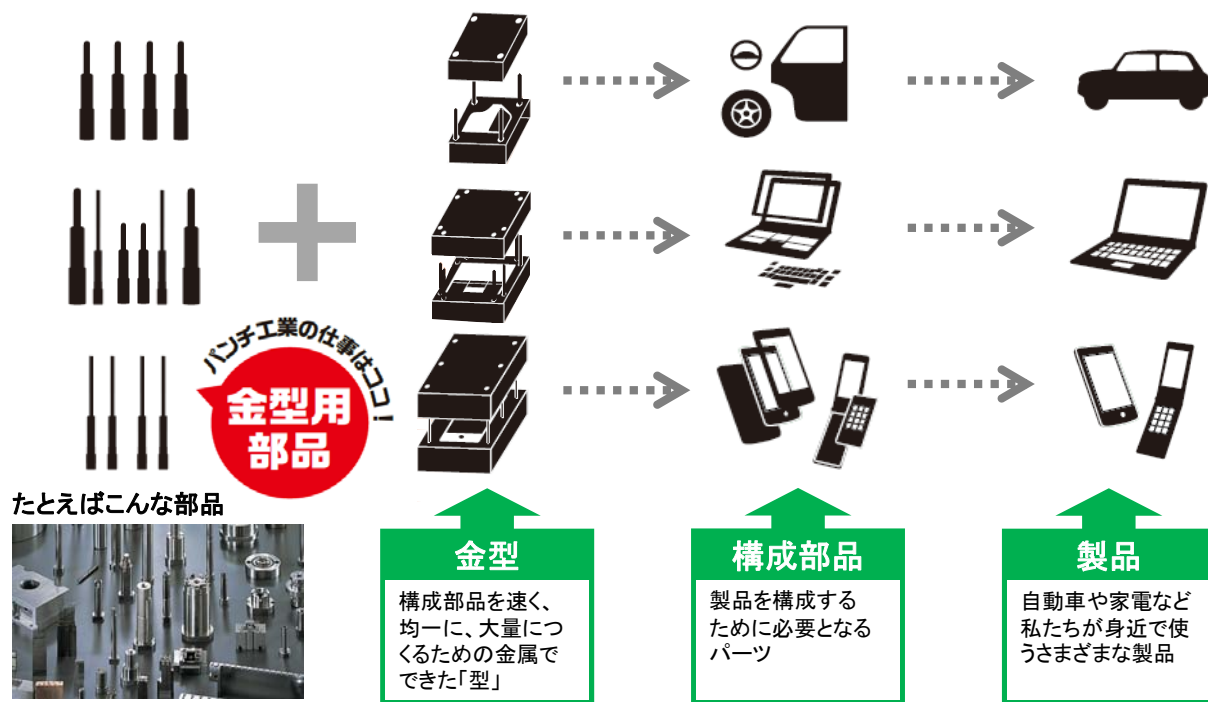


沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売

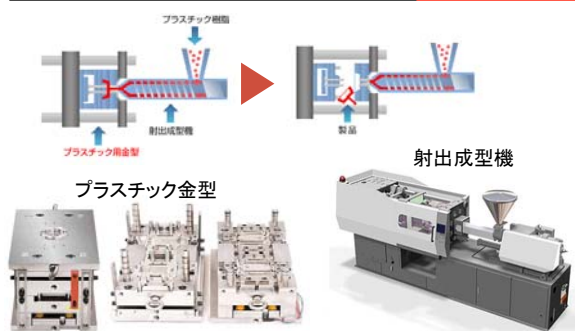


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2013 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

14

プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブッシュ・ロケットリング

●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブッシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブッシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

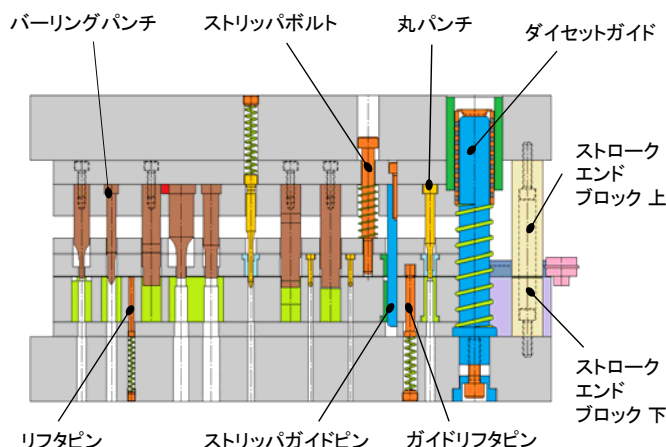


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2013 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

15

プレス金型と金型用部品



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- | | |
|--|---|
| <p>パンチ.....</p> <p>ダイセットガイド...</p> | <p>パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品</p> <p>上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品</p> |
|--|---|



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2013 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

16

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

スピーディなソリューション

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応



一気通貫の生産体制

1,800台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2013 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

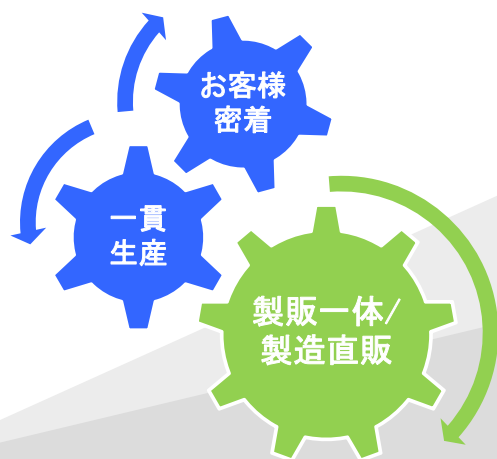
17

CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

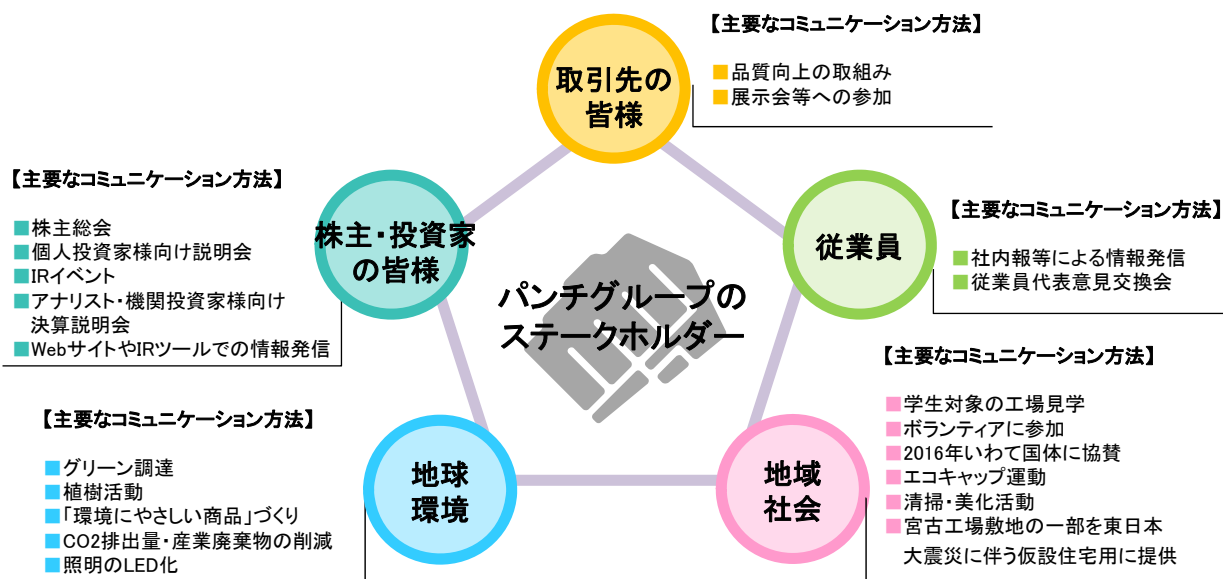


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2013 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

18

ステークホルダーとのコミュニケーション



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動



【いわて北上マラソン】
マラソンボランティアの様子



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

19

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail: info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。